令和５年度　京町小学校だより　No.17

京　町

令和５年10月20日（金）
地域を愛し、豊かな人生を歩む
ために学ぶ子どもの育成
《文責》　校長　小西　郁美

■保護者向け人権講演会　10月27日(金)10:30～11:15

講師:上田美芳先生(京町校区人権協会長) 1階多目的室

現在、マスコミでもお子さまの人権侵害に係わるニュースが多く報じられています。私たち大人が自分自身の人権感覚を磨き、またお子さまの人権感覚を養い、学校や地域が協力をして、お子様の人権を守ることが喫緊の課題の一つだと言えます。

今回、久留米市内の中学校で校長をされ、また久留米市役所内でも人権同和教育に係わる仕事をされておられました京町校区人権協会長の上田様を講師としてお迎えし、「人権」について、再度確認する学びの場を設けさせていただいております。
保護者の皆様、是非、ご参加の程よろしくお願いいたします。一緒に学びましょう。

■　オープン･スクール　温かい眼で、ご参観ください

10月25日(水)、26日(木)　10:30～12:30(授業公開)

10月27日(金)　9:30～10:15　11:15～12:30(授業公開)

10:30～11:15(人権講演会)

オープンスクールは、学校でのお子さまの様子を、日常に近い形で保護者の皆様方にも知っていただき、学校（担任）と保護者の皆様とが協力をして、お子さまの健やかな成長をめざし、共に努力をさせていただくために実施しております。

オープンスクールを継続して実施するためには、度々お伝えしておりますように、保護者の皆様に、温かい眼と心でご参観いただくということが前提となっています。当然ながら、京町小学校は他の学校と同様、全ての職員が全力で職務にあたらせていただいております。また、全てのお子さまもその日その日の授業や遊びなどに一生懸命に取り組んでおられます。教室では３０名近くが、全校では３００名近くが生活を共にしておりますので、様々な良いこともそうでないことも起きます。ですから、京町小学校では、お子さま方のきらきら光る姿もたくさんある一方で、できてないことを探すと、またきりはないと思います。

１学期のオープンスクールにて、落ち着かない学級の状態を参観された保護者の方が、「何かお手伝いできることはありませんか」とお声をかけてくださいました。感動しました。京町小学校は、保護者の皆様からのご意見には謙虚に耳を傾け、ご支援を賜りながら、学校と保護者の皆様とが同じ方向を向いて、お子さまの成長に係わらせていただくことを心情としております。今後とも、ご協力の程よろしくお願いいたします。

■久留米高専　白井龍馬先生来校

　本校は、英語で理科の内容を学ぶ授業に取り組んでいます。日本クリル学会（J-CLIL）の事務局長をされている白井龍馬先生が、久留米高専で英語を教えておられます。そのため、先日、本校の５年２組中島先生とセツ先生との理科の授業を参観されました。「すばらしい。感動しました」と本校のお子さまの学ぶ姿を大変ほめていただきました。

授業＆お仕事拝見

事務主査
川島　朱美　先生

　学校事務室の役割は多岐にわたります。京町小学校を会社に例えるとしたら、事務室は、総務、財務、渉外、福利厚生などを一手に担っています。
　事務室はある意味、学校のエンジン部分です。
　そのため、教職員が滞りなく本校に勤務できるように、あるいは、保護者のみなさんが、安心してお子様を学校に通わせ、お子様が安心して学習できるように、事務室の広範囲にわたる業務は、欠かすことができません。
　川島先生は、ご自宅にあるお花を学校に持ってきてくださり、職員玄関に飾っていただいています。このお花で、本校に来校された方がどれほど安らかな心になられることでしょう。川島先生は、このようなさりげない心づかいができられる先生です。

【川島朱美先生が、事務官になろうと思われた動機を伺いました・・・】

　自分が小学校・中学校・高校時代を過ごす中で、学校で働くことに良い印象を持っていたのだと思います。福岡県の事務職の仕事は、県庁・警察署・学校の三種類の職種があり、学校に係わりたいという気持ちと地元で働きたいという気持ちがあり、学校事務職の試験を受け、合格し、学校事務の職に就きました。学校事務は、小学校・中学校・高校のいずれの学校でも働く資格があります。本年度京町小に赴任をしました。
　学校事務の仕事はとても楽しく、やり甲斐があります。毎日、お子さまの成長を間近に感じることができ、とてもうれしく思っています。また、学校によって様々な特色があり、そのことを経験できることもまた良い経験になっています。事務室がいつも良い雰囲気で楽しい場所になるよう、努めています。